

チャレンジ！！オープンガバナンス 2017 市民／学生応募用紙

地域課題タイトル (注1)	No.	タイトル	自治体名
	- (事務局用)	地域計画の推進につながるアイデア	山口県宇部市
アイデア名 (注1) (公開)	Ubestagramer		

(注1) 地域課題タイトルは、COG2017 サイトの中に記載してある応募自治体の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。

1. 応募者情報

チーム名 (公開)	えはららぼ		
チーム属性 (公開)	<input type="checkbox"/> 1. 市民によるチーム	<input type="checkbox"/> 2. 学生によるチーム	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 市民、学生の混成によるチーム
メンバー数 (公開)	3名		
代表者情報	氏名 (公開)	橋崎友哉	
メンバー情報	氏名 (公開)	佐々木拓哉、江原史朗	

(注意書き) ※ 必ず応募前にご一読ください。

<応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2017_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2017 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。 admin_padit_cog2017@pp.u-tokyo.ac.jp

<応募内容の公開>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について：
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY (表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC (表示—非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公表いたしません)
5. この応募内容のうち、「審査項目自己評価」は、非公開です。なお、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

<知的所有権等の取扱い>

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、や知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「審査項目自己評価」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

<チームメンバー名簿>

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

2. アイデアの説明（公開）

（1）アイデアの内容、（2）アイデアの論拠、（3）実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

（1）アイデアの内容（公開）

アイデアは、だれが、何を、どこで、いつ、どのように、する公共サービス（活動）なのか、これらの要素を入れて**内容そのもの**をわかりやすく示してください。**1 ページ以内**でご記入ください。（必要に応じて図表を入れても構いません）

山口県宇部市（図 1）は県の南西部に位置しており「緑と花と彫刻のまち」を市のキャッチフレーズとしている。

特に彫刻は市のあちこちにあり、手軽に彫刻を楽しめる環境にある。しかし県内の他の市町村に比べて訪れる観光客数が少なく、宇部市の課題となっている。また、市民の若者の多くはあまり宇部市に対して関心がなく、人口が流出してしまっているという状況である。

このプロジェクトでは、宇部市の魅力を内外に発信し、宇部全体の活性化や住民に地域への関心を持ってもらうことを図る。この取組を通じて、宇部市の定住人口や交流人口を増大させることを目的とする。



図 1 宇部市の図（※ 1）

「Ubestagramer」の概要は、下記の通りとなっている。

- ① 主なターゲットは宇部在住の 10～40 代の女性
- ② アプリ内のマップに宇部の「インスタ映え」スポットを表示
- ③ 宇部市内のお店に協力してもらい、アプリを通して Instagram に店の写真を投稿してもらった人に割引クーポンなどを発行してもらう。
- ④ 10～40 代の女性にターゲットを絞ったのは、Instagram のユーザーの男女比が女性のほうが多く、年齢層は 10～40 代に集中しているからである。
- ⑤ このプロジェクトは「Ubestagramer」というアプリを通じてサービスを行う。アプリ内の機能として「マップ機能」と「QR コードリーダー」を搭載する。
「マップ機能」では宇部市のマップに対して「インスタ映え」するスポットを表示し、そのスポットを選択すると、そのスポットの詳細やそこで撮って Instagram に投稿された写真を見ることができる。
「QR コードリーダー」では、まずインスタ映えスポットに協力してもらい QR コードを設置していただく。その QR コードをアプリ内の QR コードリーダーで読み取ることで Instagram の投稿画面が立ち上がり、基礎情報が自動で入力される。この基礎情報の自動入力とは Instagram の投稿時に記述する「#」のあとに店の名前やスポットの名前、またこのアプリの URL が自動で入力されることである。これによって利用者は「インスタ映え」するスポットで写真を撮った後、簡単に Instagram にアップロードできる。また自動入力される内容にこのアプリの URL およびスポットの名前が含まれるので、アプリおよびスポットのプロモーションにもなる。
- ⑥ 協力してもらったお店にはインスタ映えするメニューを出してもらい、アプリ利用者に対してクーポン発行などを行うことで集客効果およびアプリのプロモーションにつながると考えた。

※ 1 宇部市 宇部で暮らしませんか <http://www.city.ube.yamaguchi.jp/machizukuri/uij/> から引用

※ 2 平成 28 年山口県の宿泊者および観光客の動向について

http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16200/doutai/doutai_2016.html

(2) アイデアの論拠（公開）

アイデアの論拠（なぜこのアイデアなのかの理由付け）について、それをサポートするデータ（統計類の数値データやアンケート・インタビューなどの定性データ）や証拠（資料や計画、既存の施策など）（以下：総称して「データ類」といいます）などを含めつつ、**2 ページ以内**でご記入ください。データ類は出所を明らかにしてください。

私たちは、宇部市の現状について話し合い、自分たちの持ちうるリソースについて検討するとともに、取り組みの成果として何を得たいのか話し合った。

アイデアの論拠

私たちは宇部市の現状と課題、改善方法などさまざまな視点からディスカッションを行った。

宇部市は、県内の他の市町村に比べて訪れる観光客数が少なく、課題となっている。表 1 は山口県庁のホームページで報告されている、平成 28 年山口県の宿泊者及び観光客の動向についてより得た、山口県内の市町村別の観光客数である。宇部市はときわ公園などの整備により、観光客数は増加傾向にあるものの、平成 28 年度の観光客数が下関市が 653 万人であるのに比べて、宇部市は 153 万人と少ない。

表 1 山口県市町別観光客数の状況（単位：千人）

	市町村名	H28	H27
1 位	下関市	6,530	6,678
2 位	山口市	4,712	4,671
3 位	岩国市	3,155	3,115
:			
9 位	宇部市	1,527	1,360

宇部市は「緑と花と彫刻のまち」を市のキャッチフレーズとし、特に彫刻は市のあちこちにあり、手軽に彫刻を楽しめる環境にある。また UBE ビエンナーレという、大規模な野外彫刻の現代日本彫刻展も 2 年に 1 回実施されている。それに関わらず、実際に宇部市に住んでいる市民として、市民の若者の多くはあまり宇部市に対して関心がないように感じた。

私たちは、宇部市は市の魅力の発信力が弱く、市外から訪れる方に宇部市の魅力を伝えきれていないのではないかと推定した。そこで、宇部市の魅力をすばやく、簡単に、世界中へ発信するためには、既存のサービスに頼るしかないと考えた。そこで生まれたアイデアが、Ubestagramer だ。

Ubestagramer は Instagram という、画像共有ソーシャルネットワークサービス(以下、SNS)に宇部市の魅力をすばやく、簡単に投稿するため、おすすめスポット検索機能、お店に設置した QR コードを読み取りスポットへのタグ付け(関連する情報を検索しやすくするためのキーワード)を自動で行う仕様を実装したものである。

Instagram を用いることに決めた理由

Instagram は、ここ数年で急激にアクティブユーザー数が伸びており、2017 年 4 月には月間ユーザー数が 7 億人を超えたことが発表されている(図 2 を参照)。日本でも 2000 万人の利用者がおり、Instagram に投稿した画像がおしゃれに見えることを意味する「インスタ映え」は 2017 年度の流行語大賞にも選ばれ、Instagram への注目度が高いことが伺える。

また、Instagram は画像がメインの SNS になっている。画像は、文字で伝えるより、遥かに大きい量の情報を世界に拡散できるため、Instagram を利用することに決定した。

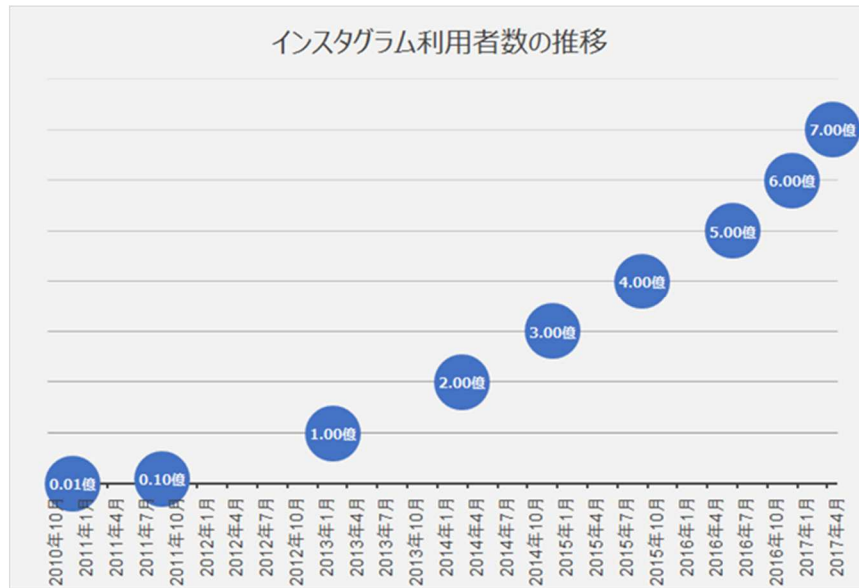


図 2 : Instagram の月間アクティブユーザー数

Ubestagramer の問題点と解決策

Instagram を活用するにあたって、懸念される問題についてもディスカッションを行った。

そもそも Ubestagramer を経由して Instagram に画像を投稿してくれるユーザーは少ないのではないか、という問題だ。

その解決策として、投稿して魅力を発信してくれたユーザーへ利益を還元するというものが挙がった。

これには、宇部市内のお店に協力していただく必要があるが、協力していただくと、Ubestagramer 上のマップにお店の名前が追加され、お店の中に QR コードを設置させていただく。QR コードはスポットへのタグ付けを自動入力するための固有識別子となっている。タグ付けした投稿をお店の方に提示することで会計時に割引を行ってもらうことで、ユーザー側は得ることができる。お店側も店の名前を広く知ってもらうことができ、お店の客が増えることが期待できる（図 3）。

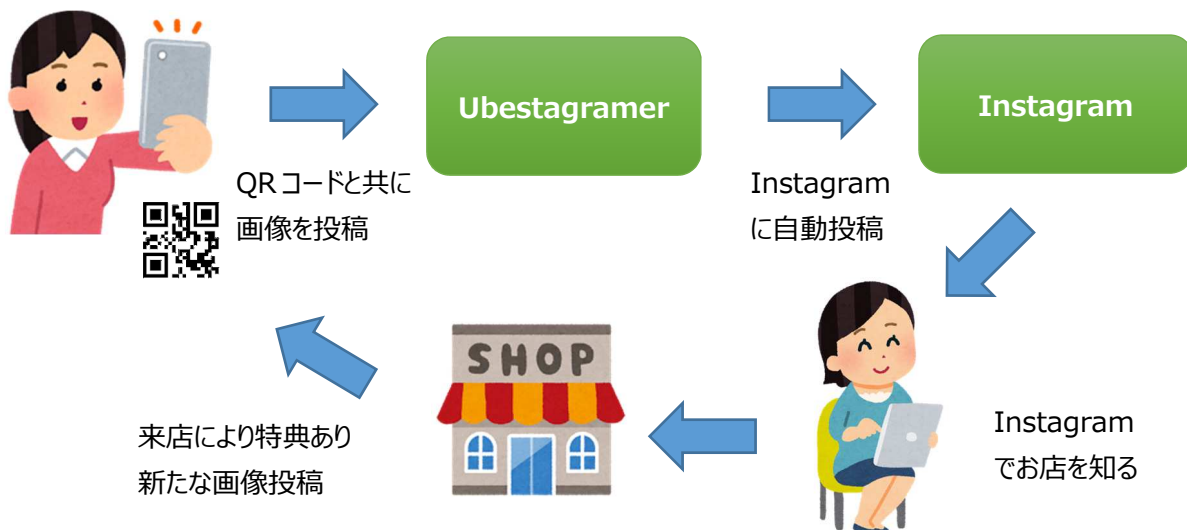


図 3 全体のイメージ図

(3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）**の大まかな規模とその現実的な調達方法（制約がある場合にはその解決策を含む）、アイデアの**実現にいたるプロセスとマイルストーン**等、アイデア実現までの大まかな流れについて、**2 ページ以内**でご記入ください。（必要に応じて図表を入れても構いません）

実現する主体

アイデアを実現する主体として、ベースとなるアプリ作成は宇部市（自治体）を想定している。観光客数の増加は宇部市の課題でもあり、また市内の店舗への協力依頼も宇部市からお願いして頂く。

実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）

本アイデアを実現するためには、1. アプリの作成、2. 協力して頂ける店舗の確保、3. ユーザの確保が必要となる。

アプリの作成については宇部市の予算を使用して作成する。アプリの使用者数が増えれば、アプリに広告を掲載するようにして、広告料でアプリの維持、管理を行う。

宇部市内で協力して頂ける店舗については、アイデア開始時は宇部市から協力依頼をして頂く形とする。アプリを見て来店客数が増えれば、店舗からの協力も得やすくなると考える。

ユーザの確保については、まずは Ubestagramer を経由して Instagram に投稿できるようにアプリを作成する必要がある。そのようなアプリを設計することで、Instagram に投稿するついでにお得な特典を得ることが可能となるため、従来の Instagram ユーザに自然に Ubestagramer を使用して頂けるようになると思う。

実現にいたるプロセスとマイルストーン

アプリ実現にいたるプロセスとして、次の 5 つのステップを考えている。

宇部高専経営情報工学科などの教育機関と連携することで、マーケティング等で発生する費用を抑えるとともに、実際のユーザに近い学生の意見を取り入れ、使いやすいアプリの作成を目指す。

Step1 : マーケティング・プロトタイプ作成

事前にマーケティングを行い、アプリに必要な機能の調査を行う。

管理・維持に必要な経費を算出し、広告料の料金を決定する。

「Ubestagramer」のアプリのプロトタイプを作成する。

マーケティングやプロトタイプの作成は、宇部高専経営情報学科に協力を依頼する。

Step2 : 協力してくれるお店を集める・インスタ映えスポット探し

クーポンなどの特典を提供してくれるお店など、本事業に協力して頂ける方を集める。

宇部市内のインスタ映えスポットの情報を収集する。

収集した情報は初期のアプリに登録しておく

Step3 : アプリの完成

協力してくれるお店の情報、インスタ映えスポットの情報をアプリ内に実装し、アプリを完成させる。

Step4 : QR コード設置

協力してくれるお店とインスタ映えスポットに QR コードを設置する。

Step5 : アプリリリース

アプリをリリースする。